

採点欄	
第1問	

第 119 回簿記検定試験答案用紙

2 級 ①

商業簿記

受験番号

氏名

生年月日 昭・平 . .

第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	仕入	2,494,000	委託買付	2,494,000
2	修繕引当金 修繕費	300,000 150,000	未払金	450,000
3	現金 有価証券売却損	486,000 320	売買目的有価証券 有価証券利息	485,000 1,320
4	法人税等	5,680,000	仮払法人税等 未払法人税等	2,410,000 3,270,000
5	減価償却費 車両減価償却累計額 未決算	90,000 405,000 405,000	車両	900,000

第2問 (20点)

(1)

仕 訳 日 計 帳

平成20年5月1日

51

借 方	元丁	摘 要	元丁	貸 方
1,055,000	省	現 金	省	817,000
250,000		受 取 手 形		290,000
1,605,000		売 掛 金		1,376,000
		売買目的有価証券		425,000
492,000		未 収 金		
350,000		支 払 手 形		215,000
1,364,000		買 掛 金		1,317,000
		短 期 借 入 金		500,000
220,000		前 受 金		100,000
21,000		略		仮 受 金
	売 上		1,605,000	
	受 取 家 賃 (有 価 証 券 売 却 益)		80,000	
			67,000	
1,317,000)	仕 入	19,000	
72,000		消 耗 品 費		
65,000		租 税 公 課		
6,811,000				6,811,000

(2)

総 勘 定 元 帳

売 掛 金 4

買 掛 金 16

平 成 20 年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 ／ 貸	残 高
5	1	前月繰越	✓	1,495,000		借 1,495,000
	"	仕訳日計表	51	1,605,000		" 3,100,000
	"	"	"		1,376,000	" 1,724,000

平 成 20 年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 ／ 貸	残 高
5	1	前月繰越	✓		1,371,000	貸 1,371,000
	"	仕訳日計表	51		1,317,000	" 2,688,000
	"	"	"	1,364,000		" 1,324,000

(3)

得 意 先 元 帳

福岡商店 1

宮崎商店 2

平 成 20 年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 ／ 貸	残 高
5	1	前月繰越	✓	821,000		借 821,000
	"	入金伝票	102		285,000	" 536,000
	"	売上伝票	401	374,000		" 910,000
	"	"	403	458,000		" 1,368,000
	"	振替伝票	502		600,000	" 768,000

平 成 20 年	摘 要	仕 丁	借 方	貸 方	借 ／ 貸	残 高
5	1	前月繰越	✓	674,000		借 674,000
	"	入金伝票	104		100,000	" 574,000
	"	売上伝票	402	773,000		" 1,347,000
	"	"	404		21,000	" 1,326,000
	"	振替伝票	501		250,000	" 1,076,000
	"	"	504		120,000	" 956,000

第3問 (20点)

精 算 表

勘定科目	残高試算表		修正記入		損益計算書		貸借対照表	
	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方	借方	貸方
現金預金	221,250		500	2,300			219,450	
受取手形	150,000						150,000	
売掛金	210,000			10,000			200,000	
売買目的有価証券	147,300		200				147,500	
繰越商品	58,000		65,000	58,000			63,600	
				1,000				
				400				
建物	4,000,000						4,000,000	
備品	800,000						800,000	
満期保有目的債券	49,500		100				49,600	
株式交付費	9,000			1,750			7,250	
支払手形		130,000						130,000
買掛金		180,000						180,000
借入金		400,000						400,000
商品保証引当金		35,800	35,800	112,000				112,000
貸倒引当金		11,200	10,000	9,300				10,500
建物減価償却累計額		720,000		120,000				840,000
備品減価償却累計額		390,400		81,920				472,320
資本金		3,000,000						3,000,000
利益準備金		115,000						115,000
繰越利益剰余金		222,550						222,550
売上		3,720,000				3,720,000		
有価証券利息		500		500		1,100		
				100				
仕入	2,700,000		58,000	65,000	2,693,000			
給料	570,000				570,000			
支払保険料	6,600			1,100	5,500			
支払利息	3,800		2,300		6,100			
	8,925,450	8,925,450						
貸倒引当金(繰入)			9,300		9,300			
有価証券評価(益)				200		200		
棚卸減耗損			1,000		1,000			
商品評価損			400		400			
減価償却費			201,920		201,920			
(株式交付費)償却			1,750		1,750			
(商品保証引当金)戻入				35,800		35,800		
(商品保証引当金)繰入			112,000		112,000			
(前払)保険料			1,100				1,100	
当期純(利益)					156,130			156,130
			499,370	499,370	3,757,100	3,757,100	5,638,500	5,638,500

受験番号 _____
 氏名 _____
 生年月日 昭・平

第 119 回簿記検定試験答案用紙

2 級 ④

工業簿記

採点欄	
第4問	
第5問	

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	材 料	2,160,000	本 社	2,160,000
2	仕 掛 品 費 製 造 間 接 費	1,944,000 108,000	材 料	2,052,000
3	仕 掛 品 費 製 造 間 接 費	1,800,000 1,444,000	賃 金 ・ 給 料	3,244,000
4	製 造 間 接 費	800,000	設 備 減 価 償 却 累 計 額	800,000
5	仕 掛 品	1,600,000	製 造 間 接 費	1,600,000

第5問 (20点)

- 問1 通常不可避免的に生ずる仕損は、(①) と呼ばれる。(②) は製品原価性をもつために良品が負担すべきであるが、それがいつ発生したかによって、その負担先が異なる。②は、第1工程では(③) のみが負担するが、第2工程では③と(④) とに負担させる。
- 問2 第1工程の月末仕掛品原価は(⑤)、完成品総合原価は(⑥)である。
- 問3 第2工程当月製造費用の前工程費は(⑦)、第2工程の月末仕掛品原価は(⑧)、完成品総合原価の内訳は前工程費が(⑨)、加工費が(⑩)である。

①	正常仕損	②	正常仕損費	③	完成品	④	月末仕掛品
⑤	168,540 円	⑥	1,067,940 円	⑦	1,067,940 円		
⑧	103,485 円	⑨	1,198,945 円	⑩	782,510 円		

日商1級 6月生

開講日程



6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月

簿記1級本コース
(商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算)

検定

基礎
コース

簿記1級本コース
(商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算)

検定

→ 税理士
→ パソコン・CAD
→ その他

1級試験対策

1級試験対策



月 木 コ ー ス	6月23日(月)
	朝) 10:00 ~ 12:30 夜) 6:30 ~ 9:00
日 コ ー ス	6月29日(日)
	朝) 9:30 ~ 3:30

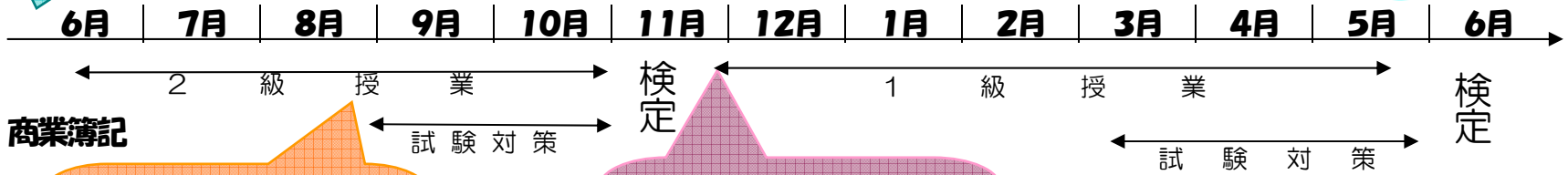
- ◎ 日商1級は内容が深く、幅広い応用力が要求されるため、ある程度の勉強量が必要ですが、決して無理な資格ではありません。半年間の努力で合格することも可能です。
- ◎ 経済社会の急速な変革に伴って、会計基準・会計法制、経営管理手法などが大幅に変化しています。日商簿記1級検定でも、その内容に大きな変化が現れてきています。資格取得はもちろん、学習をすることでこの変革を読み取ることが可能になります。

工業簿記

6月24日(火)

6月29日(日)

簿記2級開講日程



商業簿記

9月 2日(火)

9月 7日(日)

11月24日(月)

11月30日(日)

※上記スケジュールは一例です。

2級クラス		
商業簿記(期間2ヵ月)		
火・金コース	朝	{ 10:00~12:20 6:30~8:50
	夜	
日コース	昼	2:00~6:00
工業簿記(期間2ヵ月)		
火・金コース	朝	{ 10:00~12:20 6:30~8:50
	夜	
日コース	昼	2:00~6:00



1級クラス		
日商簿記の最高峰!		
月・木コース	朝	{ 10:00~12:30 6:30~9:00
	夜	
日コース	全	9:30~3:30

中部会計専門学校